

今年も行ってきました！
水深小学校

三月二十日、五名のご利用者様と共に、皆様に縫っていただいた雑巾を水深小学校まで届けに行ってきました。百枚の雑巾を寄付する活動も、今年で三年目となりました。四月から裁縫レクの時間に数名お声かけをし、コツコツと溜めてきました。身体を動かすことが苦手な方でも雑巾縫いなら出来ると楽しく参加され、最近では自信にも繋がっています。ご利用者様からの意見として、水深小学校からはボランティアの子供が来てくれ、こちらからは雑巾の寄付をするという、持ちつ持たれつの関係ができて、お互い役に立てて、とてもいい活動だと言っていたれています。この活動を通して、歳がいくつになっても社会貢献が出来ることを実感していただくと嬉しいです。



毎年サービスの窓から眺める近所のお家のこのぼりを楽しみにしています。とても立派で、ご利用者様から歓声が上がります！

ご好意でいただいたレタスの苗。ご利用者様に植えていただき、すくすくと育っています。



こんなに大きくなりました！

3月～4月 活動報告



昔、よく作ったんだよ！

美味しそうだね！

大勢にご参加いただいた「ぼた餅作り」



3月から新しい体操を始めました。腰痛や肩こりを予防し、体幹バランスを鍛える全身運動になります。デイサービスでは1日に3回全員で体操を行い、健康づくりに努めています。

チャリティコンサート

毎年どうしてチャリティコンサートを行っているのかしら・・・



社会福祉法人「愛の泉」には、終戦後間もなく事業を開始した児童養護施設・愛泉寮があります。創立当初より「一人ひとりの子供を大切に育てる」ことを養育理念とし、子供達の健全な発達、社会的自立、家族の再構築に向けての支援を行っています。チャリティコンサートの収益金は、愛泉寮の児童進学資金「いずみ奨学金」の財源確保のために一部使わせていただいています。また、愛の泉の後援会の方々への感謝の気持ちも込めて、毎年コンサートを続けて参りました。

～第43回 愛の泉チャリティコンサート～
「夢の饗宴 楽しいガラコンサート」

《開催日時》2018年6月30日(土)
《会場》パストラルかぞ(大ホール)

※デイサービスでは、おでかけレクとして、外食「とんでん」とチャリティコンサートに行きます。多くの方のご参加をお待ちしております。

< 後日詳細を配布いたします >

シリーズ
ボランティアインタビュー

二十五年の間、愛の泉でコミュニケーションボランティアを行っている松本十糸様。この度インタビューにお答えいただきました。

大槻：どのようなきっかけでボランティアを始めたのですか？

松本様：退職を期に何か始めたいと思った時、愛の泉に知り合いがいて、声をかけたことがきっかけです。

大槻：とても長くボランティアを続けられていますが、どのような思いで続けていらっしゃるのですか？

松本様：やってあげるとか思ったことは一度もないです。自分の身体のためにやらせていただいていると思いつつ続けています。皆と話をしているとなんか元気になるし、教わることも多いの。私ももう八十三歳だから、最近では、「あー、また今日も愛の泉に来られた！」と喜びになっているのよ。

大槻：ありがとうございます。これからはますますお元気で、愛の泉にいらして下さい。



ご利用者様から松本様へのメッセージ

- ・身体をさすってもらって軽くなっています。
- ・話が上手でとにかく来てくれると楽しいの。
- ・昔から地元の人だから、話が合うんだよね。
- ・あの人が帰っちゃうと寂しいの。
- ・初めの頃は遠慮していたんだけど、今では私の所へ来てくれるだけで嬉しいよ。

ご利用者様から、とても愛されている松本様。今後も職員一同、お待ちしております。